



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ジェコス株式会社

コード番号 9991 URL <http://www.gecoss.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 弓場 勉

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 吉川 修治

TEL 03-3660-0776

四半期報告書提出予定日 平成23年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,147	△9.1	4	△99.7	△63	—	23	△95.8
23年3月期第2四半期	39,764	△0.7	1,396	506.1	1,275	—	563	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △49百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 492百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.64	—
23年3月期第2四半期	15.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	83,041	25,569	30.8
23年3月期	85,340	25,910	30.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 25,569百万円 23年3月期 25,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△5.9	1,600	△3.7	1,300	△14.1	700	△35.9	19.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	36,436,125 株	23年3月期	36,436,125 株
24年3月期2Q	30,507 株	23年3月期	30,162 株
24年3月期2Q	36,405,728 株	23年3月期2Q	36,406,752 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
3. 補足情報	11
(1) 連結業績（セグメント別前年同期比較）	11
(2) 連結貸借対照表（前期末比較）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月～平成23年9月）（以下、「当第2四半期」という。）における建設業界は、東日本大震災の影響や、急速な円高、海外経済の下振れ懸念により、民間設備投資や公共工事の一部が先送りされるなど市場の縮小傾向が続く、先行きの見えない経営環境で推移いたしました。

このような経営環境のもとで、当企業集団は採算性を重視した受注活動を行うなど、収益力の向上に努めてまいりましたが、当第2四半期における連結売上高は361億47百万円（前年同期比9.1%減）となりました。また、利益面におきましては、営業利益4百万円（前年同期比99.7%減）、経常損失63百万円（前年同期は経常利益12億75百万円）、四半期純利益は23百万円（前年同期比95.8%減）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(仮設鋼材事業)

仮設鋼材事業におきましては、全国的に建設需要が大きく低迷したため、売上数量が減少し、売上高は319億40百万円（前年同期比12.0%減）となり、経常損失5億95百万円（前年同期は経常利益12億28百万円）の計上を余儀なくされました。

(建設機械事業)

建設機械事業におきましては、震災復興関連や節電対策等により、発電機や高所作業車の稼働率が改善し、レンタル料単価が底入れしたことから、売上高は57億31百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

また、平成22年3月期に実施した事業再編を含む抜本的収益改善策等の効果もあり、経常利益は5億88百万円（前年同期比248.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第2四半期末における資産の部は、前連結会計年度末と比較して22億99百万円（2.7%）減少し、830億41百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が30億38百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第2四半期末における負債の部は、前連結会計年度末と比較して19億58百万円（3.3%）減少し、574億72百万円となりました。

これは主に、リース債務が8億83百万円減少し、支払手形及び買掛金が4億97百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期末における純資産の部は、前連結会計年度末と比較して3億41百万円（1.3%）減少し、255億69百万円となりました。

これは主に、四半期純利益23百万円を計上した一方で、前期末配当金2億91百万円（1株当たり8円）の支払いを実施したこと、その他有価証券評価差額金が73百万円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末と比較して3億76百万円（11.4%）減少し、29億26百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、14億25百万円（前年同四半期28億13百万円）となりました。

これは主に、売上債権の減少による資金増加が31億83百万円となった一方で、たな卸資産の増加による資金減少が15億1百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、△30百万円（前年同四半期2億29百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、△17億70百万円（前年同四半期△26億29百万円）となりました。

これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が14億79百万円、前期末配当金の支払額が2億91百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当企業集団をとりまく経営環境は、東日本大震災後の復旧・復興への取組みが徐々に始まり、凍結されていた案件も動き出すなど好転が期待されるものの、円高の進行や世界経済の不安定な状況が建設投資の先行きに不透明感をもたらすなど、引き続き厳しい状況が続くものと想定しております。

このような経営環境において、当企業集団は、まず、「東日本大震災復旧・復興協力班」を立ち上げ、復旧・復興に全社を挙げて一元的かつ機動的に対応してまいります。また、引き続き賃貸単価の改善に取り組み、鋼材市況・建設機械レンタル市況の動向を注視しつつ、適正単価の確保に向けて粘り強い価格交渉を継続してまいります。

加えて、鋼材の適正保有、調達コストの圧縮、全社的な経費削減をより一層推進してまいります。

以上の諸施策を実施いたしますが、建設需要の動向につきましては、未だ不透明感が拭えない状況にあることから、通期連結業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表いたしました数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,302	2,926
受取手形及び売掛金	27,680	24,642
建設仮設材	23,306	24,378
商品	1,719	2,043
製品	493	512
仕掛品	243	334
原材料及び貯蔵品	380	375
その他	1,584	1,442
貸倒引当金	△549	△640
流動資産合計	58,158	56,012
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用建設機械(純額)	347	440
建物及び構築物(純額)	3,542	3,396
土地	13,318	13,311
リース資産(純額)	3,712	3,401
その他(純額)	1,121	1,006
有形固定資産合計	22,040	21,554
無形固定資産	421	586
投資その他の資産		
投資有価証券	2,254	2,195
その他	3,132	3,283
貸倒引当金	△665	△589
投資その他の資産合計	4,722	4,889
固定資産合計	27,183	27,030
資産合計	85,340	83,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,780	22,283
短期借入金	25,250	25,250
リース債務	2,884	2,500
未払法人税等	78	187
賞与引当金	485	531
引当金	226	89
その他	1,993	1,399
流動負債合計	53,696	52,239
固定負債		
リース債務	3,182	2,683
再評価に係る繰延税金負債	2,204	2,201
引当金	333	340
その他	16	9
固定負債合計	5,734	5,233
負債合計	59,431	57,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,398	4,398
資本剰余金	4,596	4,596
利益剰余金	18,230	17,966
自己株式	△14	△15
株主資本合計	27,209	26,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	101
土地再評価差額金	△1,473	△1,477
その他の包括利益累計額合計	△1,299	△1,376
純資産合計	25,910	25,569
負債純資産合計	85,340	83,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	39,764	36,147
売上原価	32,848	30,131
売上総利益	6,916	6,016
販売費及び一般管理費	5,520	6,012
営業利益	1,396	4
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	14
投資有価証券売却益	1	—
持分法による投資利益	62	59
固定資産処分益	73	8
貸倒引当金戻入額	6	66
その他	77	28
営業外収益合計	226	176
営業外費用		
支払利息	304	222
手形売却損	18	14
その他	25	7
営業外費用合計	347	243
経常利益又は経常損失(△)	1,275	△63
特別損失		
投資有価証券評価損	33	—
減損損失	9	6
特別退職金	205	—
特別損失合計	247	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,028	△69
法人税、住民税及び事業税	79	174
法人税等調整額	386	△267
法人税等合計	465	△92
少数株主損益調整前四半期純利益	563	23
少数株主利益	—	—
四半期純利益	563	23

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	563	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	△73
その他の包括利益合計	△72	△73
四半期包括利益	492	△49
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492	△49
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,028	△69
減価償却費	1,503	1,132
減損損失	9	6
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	33	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△122	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△215	46
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△56	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△52	1
受取利息及び受取配当金	△7	△15
支払利息	304	222
持分法による投資損益(△は益)	△62	△59
売上債権の増減額(△は増加)	550	3,183
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,996	△1,501
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,200	△517
その他	△1,585	△790
小計	3,126	1,661
利息及び配当金の受取額	24	32
利息の支払額	△306	△225
法人税等の支払額	△30	△43
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,813	1,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△232	△122
有形固定資産の売却による収入	514	139
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	7	—
その他	△56	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	229	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,519	△1,479
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△110	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,629	△1,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	413	△376
現金及び現金同等物の期首残高	2,540	3,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,954	2,926

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	仮設鋼材	建設機械	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	35,565	4,199	39,764	—	39,764
セグメント間の内部売上高又は 振替高	719	1,062	1,781	△1,781	—
計	36,284	5,261	41,545	△1,781	39,764
セグメント利益	1,228	169	1,396	△121	1,275

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結調整△121百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	仮設鋼材	建設機械	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	31,331	4,815	36,147	—	36,147
セグメント間の内部売上高又は 振替高	608	915	1,523	△1,523	—
計	31,940	5,731	37,670	△1,523	36,147
セグメント利益又は損失（△）	△595	588	△7	△55	△63

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額は、連結調整△55百万円であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失（△）と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結業績（セグメント別前年同期比較）

（単位：百万円）

	2011年3月期 第2四半期累計 (2010/4～2010/9)	2012年3月期 第2四半期累計 (2011/4～2011/9)	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	39,764	36,147	△3,617	△9.1
仮設鋼材事業	36,284	31,940	△4,344	△12.0
建設機械事業	5,261	5,731	470	8.9
調整額 ※1	△1,781	△1,523	257	
売上原価	△32,848	△30,131	2,718	
売上総利益	6,916	6,016	△900	△13.0
(利益率%)	17.4	16.6		
販売費及び一般管理費	△5,520	△6,012	△492	
営業利益	1,396	4	△1,392	△99.7
(利益率%)	3.5	0.0		
営業外収益	226	176	△50	
営業外費用	△347	△243	104	
経常利益	1,275	△63	△1,338	—
(利益率%)	3.2	△0.2		
仮設鋼材事業	1,228	△595	△1,823	—
建設機械事業	169	588	419	248.3
調整額 ※1	△121	△55	66	
特別利益	—	—	—	
特別損失	△247	△6	240	
税金等調整前当期純利益	1,028	△69	△1,097	—
(利益率%)	2.6	△0.2		
税金費用	△465	92	557	
当期純利益	563	23	△540	△95.8
(利益率%)	1.4	0.1		

(注)

※1 セグメント売上の調整額はセグメント間の内部売上高又は振替高の消去額であり、セグメント利益の調整額は連結調整であります。

(2) 連結貸借対照表 (前期末比較)

(単位：百万円)

	2011年3月期 2011/3末	2012年3月期 2011/9末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
流動資産	58,158	56,012	△2,146	△3.7
現金及び預金	3,302	2,926	△376	△11.4
受取手形及び売掛金	27,680	24,642	△3,038	△11.0
たな卸資産	26,141	27,642	1,501	5.7
その他	1,584	1,442	△142	△9.0
貸倒引当金	△549	△640	△91	—
固定資産	27,183	27,030	△153	△0.6
有形固定資産	22,040	21,554	△485	△2.2
賃貸用建設機械	347	440	93	26.7
建物及び構築物	3,542	3,396	△146	△4.1
土地	13,318	13,311	△6	△0.0
リース資産	3,712	3,401	△311	△8.4
その他	1,121	1,006	△115	△10.2
無形固定資産	421	586	164	39.0
投資その他の資産	4,722	4,889	168	3.6
投資有価証券	2,254	2,195	△59	△2.6
その他	3,132	3,283	151	4.8
貸倒引当金	△665	△589	76	—
資産合計	85,340	83,041	△2,299	△2.7
	2011年3月期 2011/3末	2012年3月期 2011/9末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
流動負債	53,696	52,239	△1,457	△2.7
支払手形及び買掛金	22,780	22,283	△497	△2.2
短期借入金	25,250	25,250	—	—
リース債務	2,884	2,500	△384	△13.3
未払法人税等	78	187	109	138.5
引当金	710	620	△91	△12.8
その他	1,993	1,399	△594	△29.8
固定負債	5,734	5,233	△501	△8.7
リース債務	3,182	2,683	△499	△15.7
再評価に係る繰延税金負債	2,204	2,201	△3	△0.1
引当金	333	340	7	2.2
その他	16	9	△7	△42.4
負債合計	59,431	57,472	△1,958	△3.3
株主資本	27,209	26,945	△264	△1.0
資本金	4,398	4,398	—	—
資本剰余金	4,596	4,596	—	—
利益剰余金	18,230	17,966	△264	△1.4
自己株式	△14	△15	△0	—
その他の包括利益累計額	△1,299	△1,376	△76	—
その他有価証券評価差額金	174	101	△73	△41.8
土地再評価差額金	△1,473	△1,477	△4	—
純資産合計	25,910	25,569	△341	△1.3
負債純資産合計	85,340	83,041	△2,299	△2.7